



イーソル株式会社

2022年12月期 決算説明資料

2023年2月14日

本日の内容

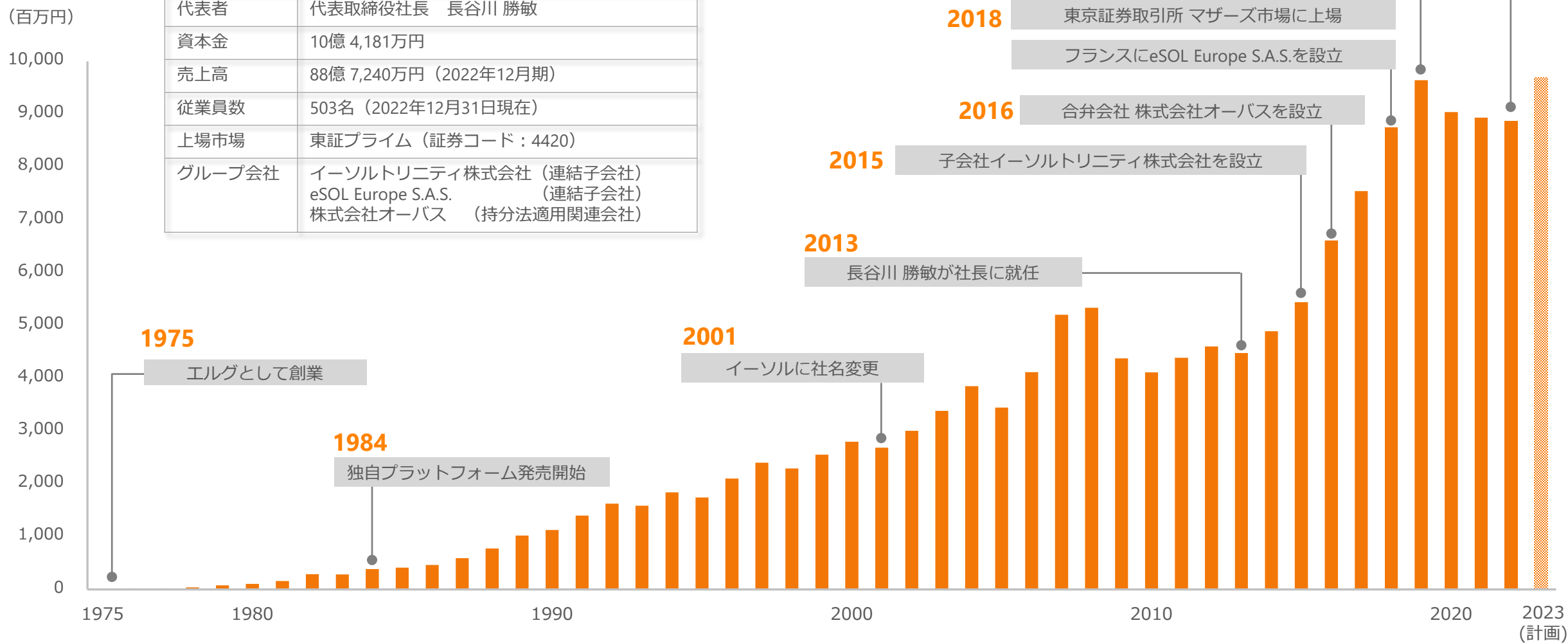
1. 会社概要
2. 2022年12月期 決算概要
3. 2023年12月期 計画

1. 会社概要

沿革

変化の激しいソフトウェア業界で持続的に成長

社名	イーソル株式会社（英名：eSOL Co., Ltd.）
代表者	代表取締役社長 長谷川 勝敏
資本金	10億 4,181万円
売上高	88億 7,240万円（2022年12月期）
従業員数	503名（2022年12月31日現在）
上場市場	東証プライム（証券コード：4420）
グループ会社	イーソルトリニティ株式会社（連結子会社） eSOL Europe S.A.S.（連結子会社） 株式会社オーバス（持分法適用関連会社）



事業内容

組込みソフトウェア事業とセンシングソリューション事業の2つのセグメントから構成



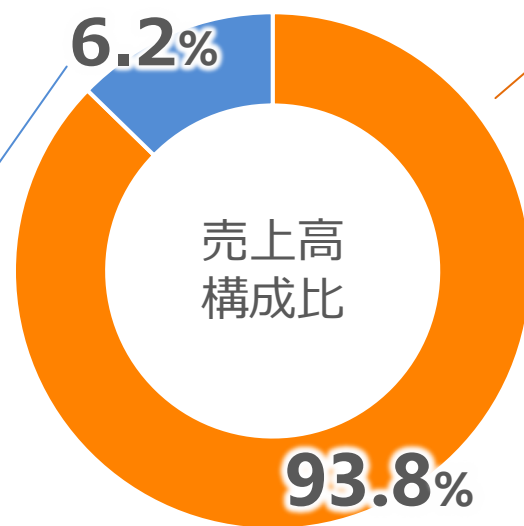
センシングソリューション事業

【物流関連ビジネス】

- 指定伝票発行用車載プリンタ
- 常温ハンディターミナル
- 耐環境ハンディターミナル、および販売支援用ソフトウェアの開発・販売

【防災・減災ソリューション】

- センサネットワークシステムの提案



2022年12月期

組込みソフトウェア事業

【組込みソフトウェア製品】

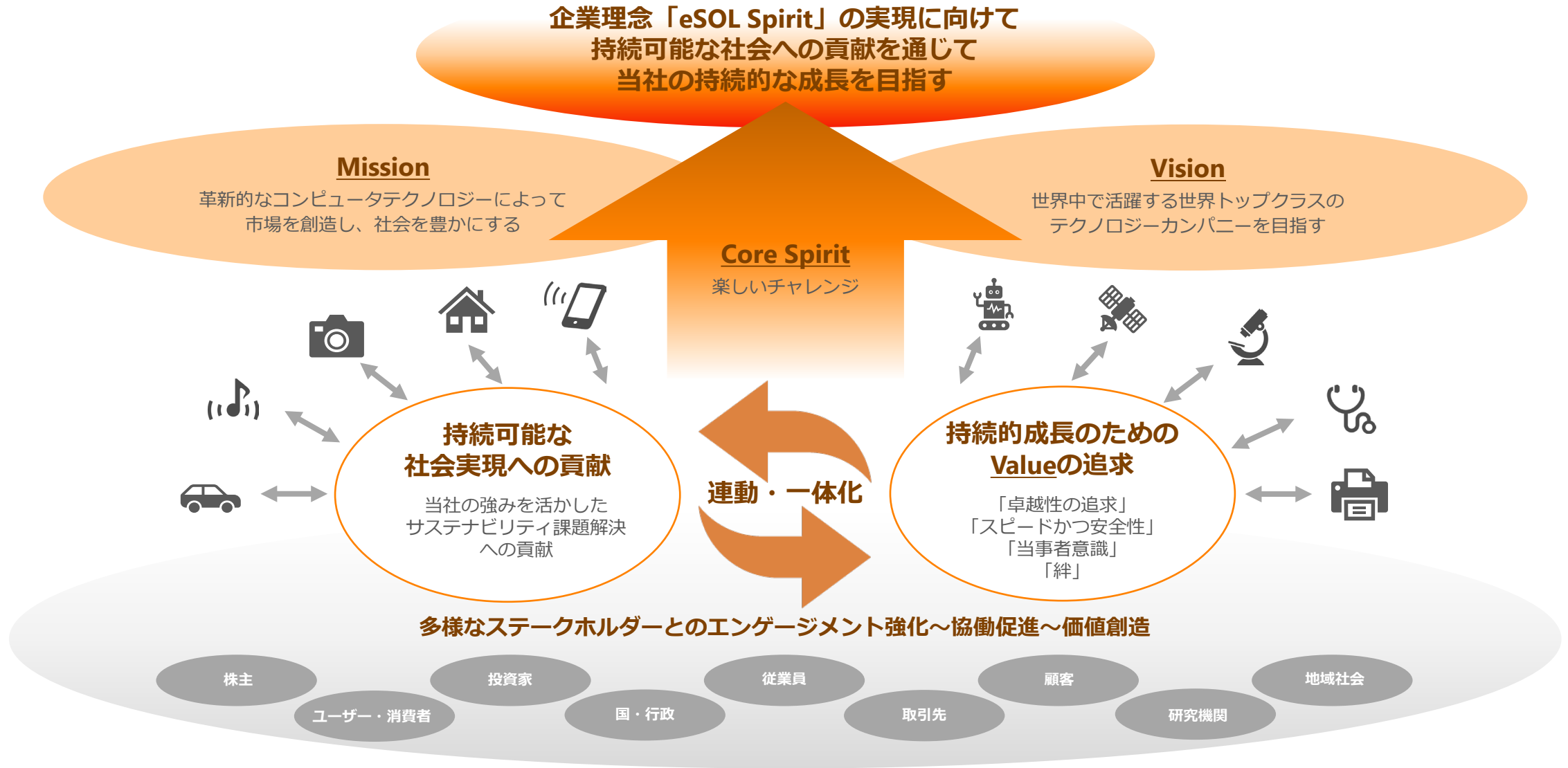
- RTOS (リアルタイム・オペレーティング・システム) の開発・販売
- 組込みソフトウェア開発のためのツールの販売

【エンジニアリングサービス】

- 組込みソフトウェアの受託業務としてのエンジニアリングサービス
- 組込みソフトウェア開発にかかわるコンサルティング
- 組込みソフトウェア開発エンジニアの教育



当社サステナビリティ方針



1. 2022年12月期 決算概要

決算の概要（計画値との差異）

- 2022年8月10日に、組込みソフトウェア事業における自動車関連向け製品販売の下半期へのスライドやエンジニアリングサービスの伸び悩み、また、センシングソリューション事業における車載プリンタ関連の売上のスライドなどにより、業績修正を発表。
- 通期業績は、組込みソフトウェア事業、センシングソリューション事業とも売上の一部が2023年度へのスライドが発生。
営業利益以下の段階利益は、当社の開発投資計画のさらなる効率化と計画の一部が2023年度に繰り延べられること、ならびに販売費及び一般管理費が計画を下回ることなどから、赤字額が修正計画に比べ減少した。

	2022年8月10日発表		(百万円)	
	前回予想	通期業績	増減額	増減率
売上高	9,068	8,872	▲195	▲2.2%
営業利益	▲398	▲353	+44	—
経常利益	▲319	▲250	+68	—
当期純利益	▲399	▲357	+41	—

決算の概要（計画値との差異、セグメント別）

2022年8月10日発表

(百万円)

	前回予想	通期業績	増減額		増減率
			増減額	増減率	
売上高	9,068	8,872	▲195	▲2.2%	
組込みソフトウェア事業	8,532	8,442	▲89	▲1.1%	
センシングソリューション事業	573	556	▲16	▲2.9%	
連結調整	▲37	▲127	▲89	—	
営業利益	▲398	▲353	+44	—	
組込みソフトウェア事業	▲333	▲220	+112	—	
センシングソリューション事業	▲34	▲19	+15	—	
連結調整	▲30	▲113	▲83	—	
経常利益	▲319	▲250	+68	—	
当期純利益	▲399	▲357	+41	—	

売上の一部が2023年度へスライド

研究開発費のさらなる効率化と計画の一部
2023年への繰り延べ

販売費及び一般管理費の計画比減

決算の概要（前期比）

- 売上高：組込みソフトウェア事業は増収であったが、センシングソリューション事業が減収となり、全体で微減となった。
- 営業利益：車載ソフトウェア向け自社製OSの開発投資（研究開発費）を含む、販売費及び一般管理費の増加や連結調整における未実現利益の消去などより減益となった。
- その他：前期に引き続き、NEDO*の研究開発プロジェクトの収入を営業外収益に計上した。

セグメント別の詳細：P11 得意先セクター別の詳細：P13

*NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

(百万円)

前期比増減の
詳細：P12

	2021年	2022年	増減額	増減率
売上高	8,937	8,872	▲65	▲0.7%
売上原価	6,142	5,939	▲203	▲3.3%
リビジョンアップ	704	555	▲148	▲21.1%
売上総利益	2,795	2,933	+137	+4.9%
販売費及び一般管理費	2,722	3,286	+564	+20.7%
研究開発費	1,125	1,255	+129	+11.5%
営業利益	72	▲353	▲426	—
経常利益	330	▲250	▲580	—
当期純利益	200	▲357	▲558	—

セグメント別の業績（前期比）

(百万円)

セグメント別	2021年	2022年	増減	
			増減額	増減率
売上高	8,937	8,872	▲65	▲0.7%
組込みソフトウェア事業	8,255	8,442	+187	+2.3%
組込みソフトウェア製品	1,823	1,906	+83	+4.6%
エンジニアリングサービス	6,432	6,536	+104	+1.6%
センシングソリューション事業	692	556	▲135	▲19.6%
連結調整	▲9	▲127	▲117	—
売上総利益	2,795	2,933	+137	+4.9%
組込みソフトウェア事業	2,538	2,858	+320	+12.6%
センシングソリューション事業	252	188	▲64	▲25.5%
連結調整	4	▲113	▲118	—
営業利益	72	▲353	▲426	—
組込みソフトウェア事業	40	▲220	▲261	—
センシングソリューション事業	27	▲19	▲46	—
連結調整	4	▲113	▲118	—

■ 組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア製品、エンジニアリングサービスとも増収
 コンシューマ機器、医療向けが伸びる

■ センシングソリューション事業

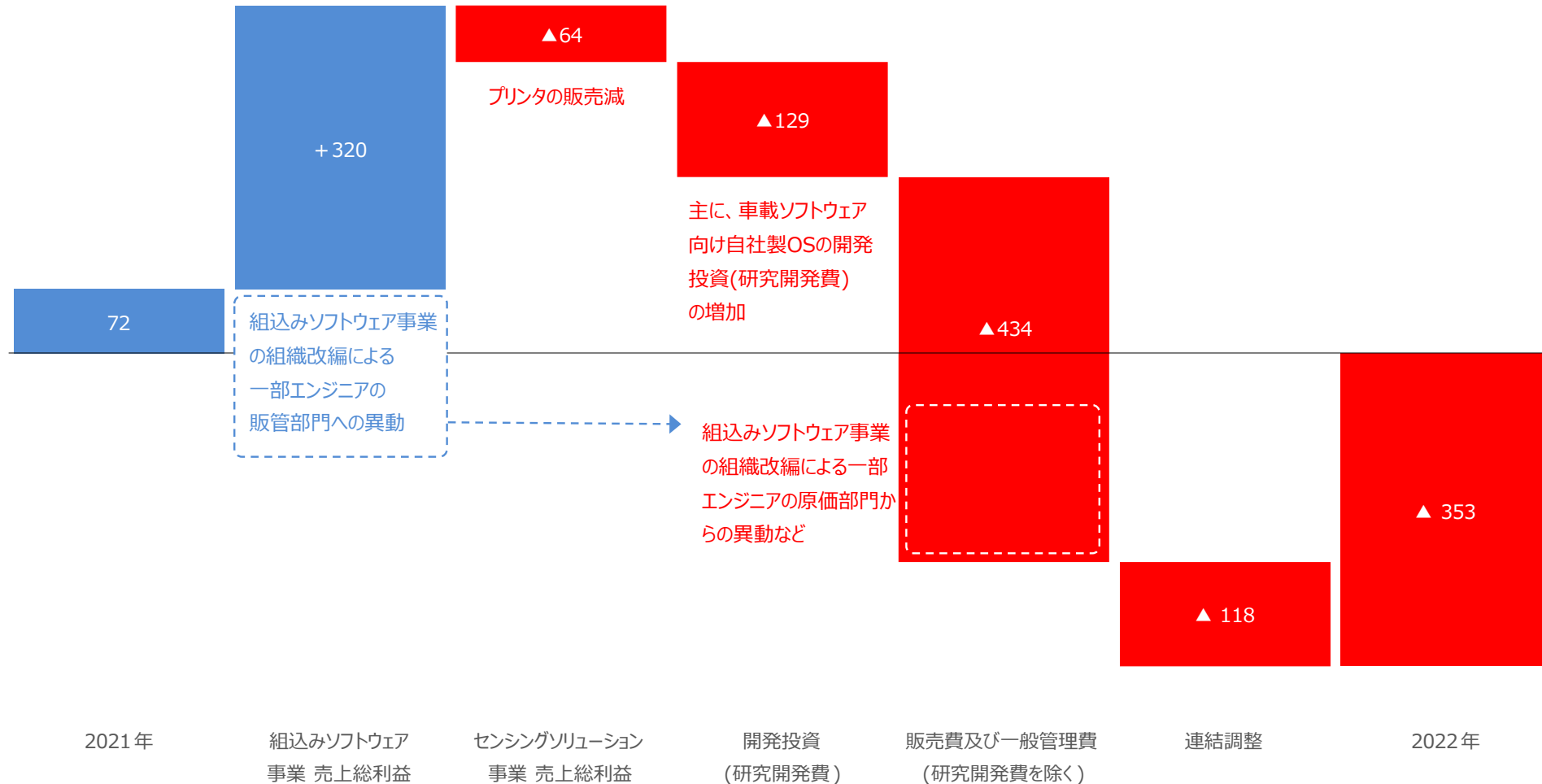
車載プリンタ関連の売上が大幅減

■ 連結調整

連結調整における未実現利益の消去

営業利益増減要因（前期比）

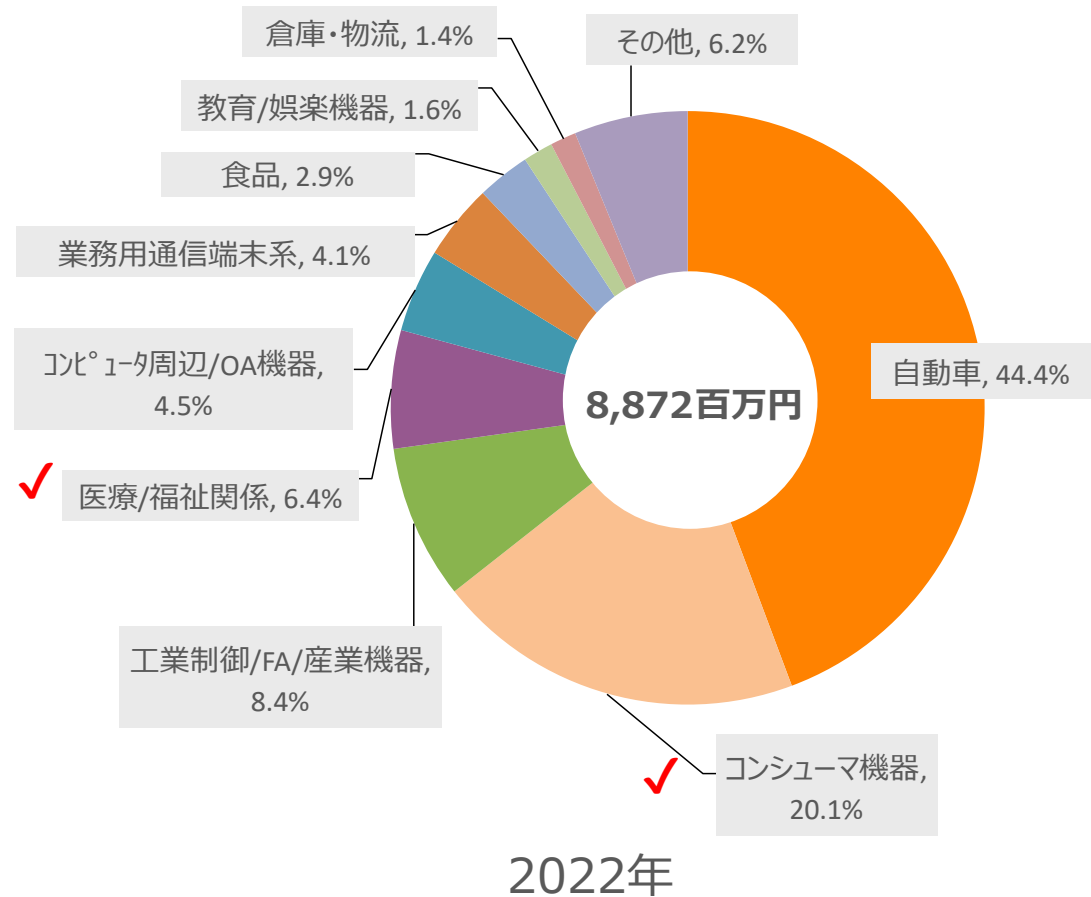
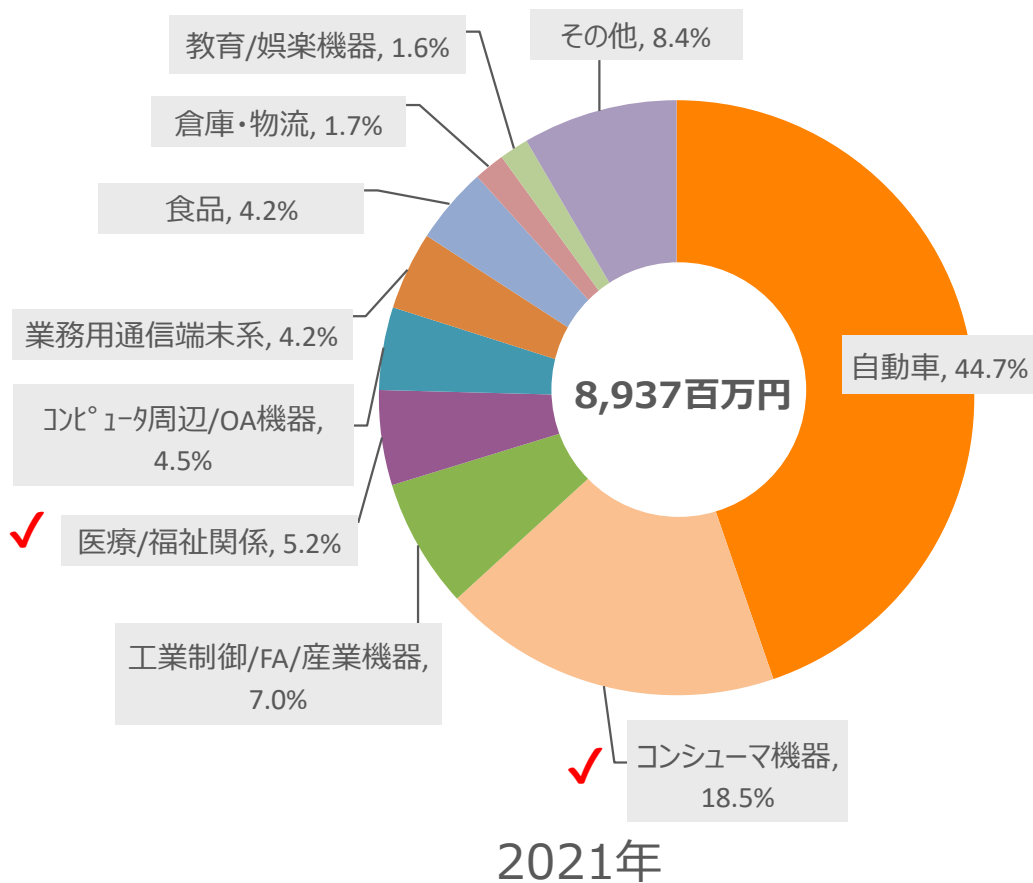
(百万円)



得意先セクター別の売上割合（前期比）

✓ コンシューマ機器、医療／福祉関係向けが伸長

（注）「その他」は連結調整を含む



2. 2023年12月期 計画

計画の概要（全体）

増収・増益の計画

- 組込みソフトウェア事業、センシングソリューション事業とも増収の計画。
- 開発投資は、2022年に引き続き、主に自動車市場向けに、投資を継続。
- 営業外収益で2022年同様、NEDOからの助成金収入を見込む。

(百万円)

	2022年	2023年 (計画)				
			増減	増減率	上期	下期
売上高	8,872	9,692	+820	+9.2%	4,565	5,127
営業利益	▲353	▲94	+258	—	▲201	106
経常利益	▲250	23	+274	—	▲89	113
当期純利益	▲357	0	+357	—	▲100	99

計画の概要（セグメント別）

■ 組込みソフトウェア事業

エンジニアリングサービスにおいて、幅広いセクターで増収の計画。

■ センシングソリューション事業

- ・ 車載プリンタの販売増の計画。
- ・ 当社開発支援ツール **eSOL Emusen easy** で開発した
移動型簡易POSシステムの提供開始、サブスクリプションによる安定的な収益確保。



車載プリンタ



Mobile POS 決済端末

(百万円)

	2022年	2023年 (計画)	増減	
			増減	増減率
売上高	8,872	9,692	+820	+9.2%
組込みソフトウェア事業	8,442	8,884	+442	+5.2%
センシングソリューション事業	556	807	+250	+45.1%
連結調整	▲127	—	—	—

*連結調整は見積もりできないため、計画には含めていません。

計画の概要（開発投資の方針）

■ 開発投資の基本方針

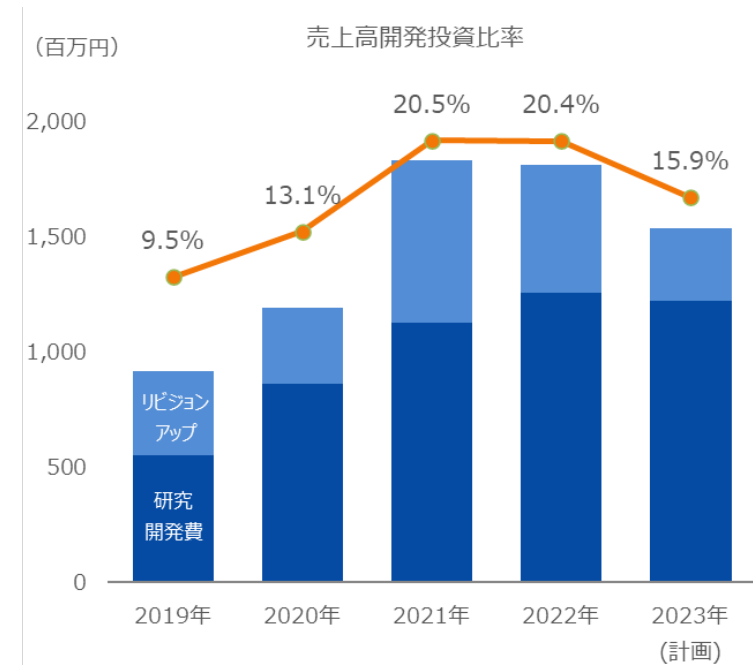
売上高の10%程度を基準に、毎期、開発投資を継続して行い、自社製品のさらなる高機能化を目指す。

■ 今期の方針

当社が主要ターゲットとして位置付けている自動車市場で進む「CASE」への対応。
当社製品の採用に向けて、売上高比率10%を超えた開発投資を継続。

	2022年	2023年 (計画)	(百万円)	
			増減額	増減率
売上高	8,872	9,692	+820	+9.2%
開発投資額	1,810	1,537	▲273	▲15.1%
研究開発費	1,255	1,222	▲32	▲2.6%
リビジョンアップ	555	315	▲240	▲43.2%
売上高開発投資比率	20.4%	15.9%	—	—

研究開発費	- 新規製品の開発に対する投資 - 販売費に計上
リビジョンアップ	- 既存製品のバージョンアップに対する投資 - 売上原価に計上



計画の概要（車載ソフトウェア開発に向けた投資）

■自動車業界の動向 - 「SDV」への対応

CASE*対応に向け、増大する車載ソフトウェア開発の効率化が必要となり、その方法として、SDV（Software Defined Vehicle）**、いわゆる「Vehicle OS」の開発が急務。

**ソフトウェアによって機能や特徴が決まる自動車。
ソフトウェアを個別に開発してきた既存の自動車と異なり、ハードウェアとソフトウェアを分離し、開発したソフトウェアをさまざまなハードの上で実行する。

***C**onected（つながる車）

Autonomous（自動運転）

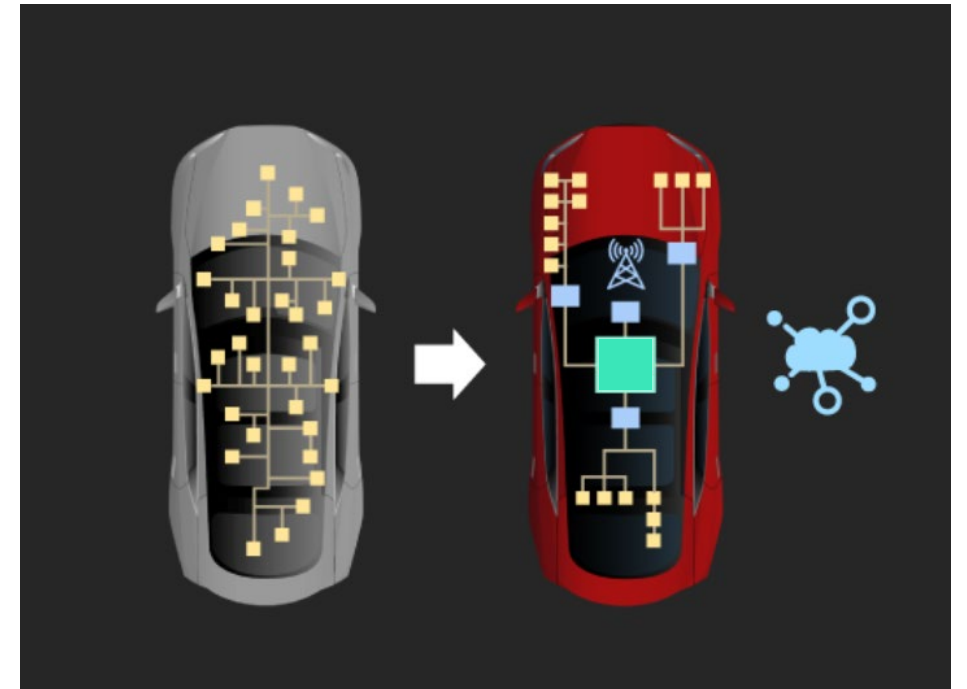
Shared & **S**ervice（シェアリング サービス）

Electric（電動化）

■開発投資の内容

当社はこれまで自動車向けにさまざまな技術提供を進めてきましたが、これから普及していくVehicles OSに向けて、さらなる技術提供をするために、当社の次世代OS「eMCOS」の開発に力を入れています。

 **MCOS**

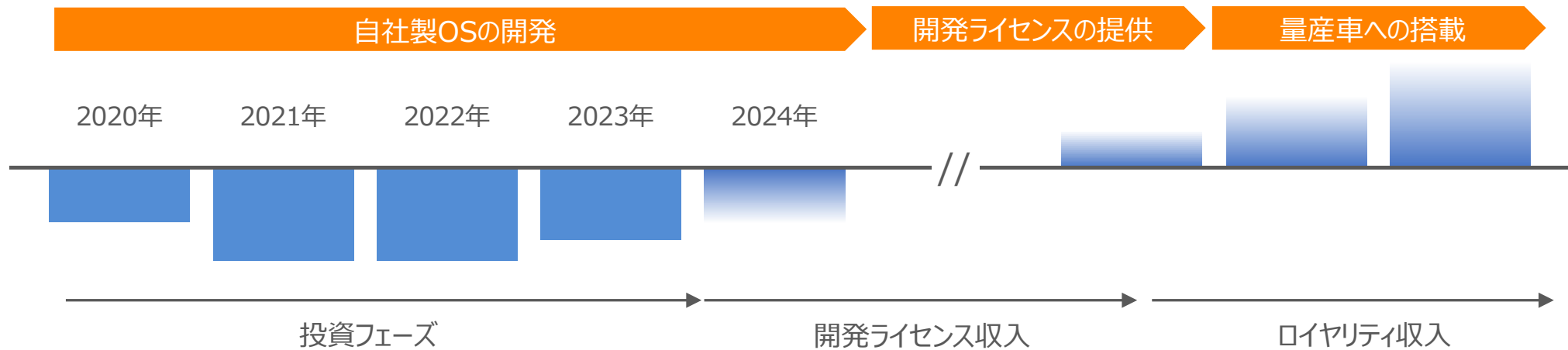


計画の概要（投資の効果）

■ 「Vehicle OS」に向けた開発投資の業績への貢献

「投資フェーズ」から「開発ライセンス収入」「ロイヤリティ収入」に向け、開発を加速。

(イメージ)



計画の概要（株主還元）

次の方針にもとづき、株主のみなさまへの還元を図ってまいります。

■ 配当政策

財務基盤の安定化。

業績に応じた安定した配当性向。

内部留保による企業価値向上への投資（開発投資、人材育成など）。

■ 配当の額

今期も引き続き投資フェーズで、これは将来収益獲得のためであることから、配当額は、前年同額を計画しております。

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1株当たり配当金	*5.50円	5.50円	5.50円	5.50円	5.50円
（うち中間配当金）	(0.00円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)
配当性向	17.0%	16.6%	55.8%	—	—

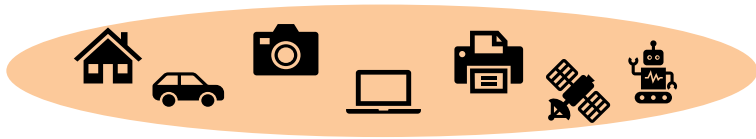
*うち、記念配当1.50円

3. 経営方針

当社が目指す姿

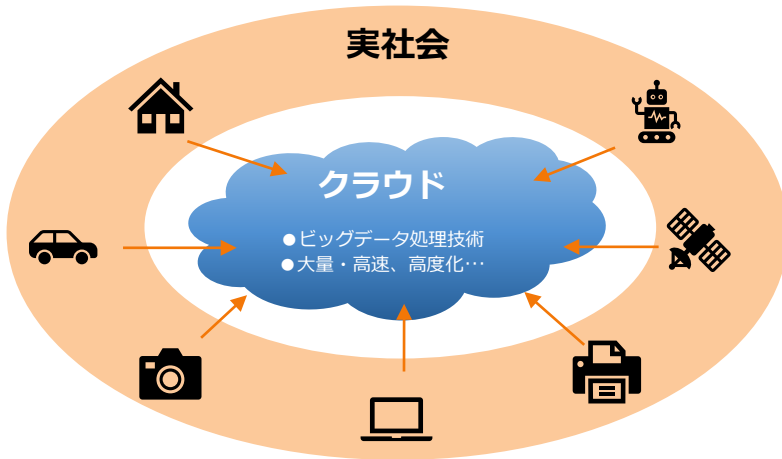
過去 情報社会

分野ごとに**単独**で情報ネットワークが構築された社会



現在 IoT社会

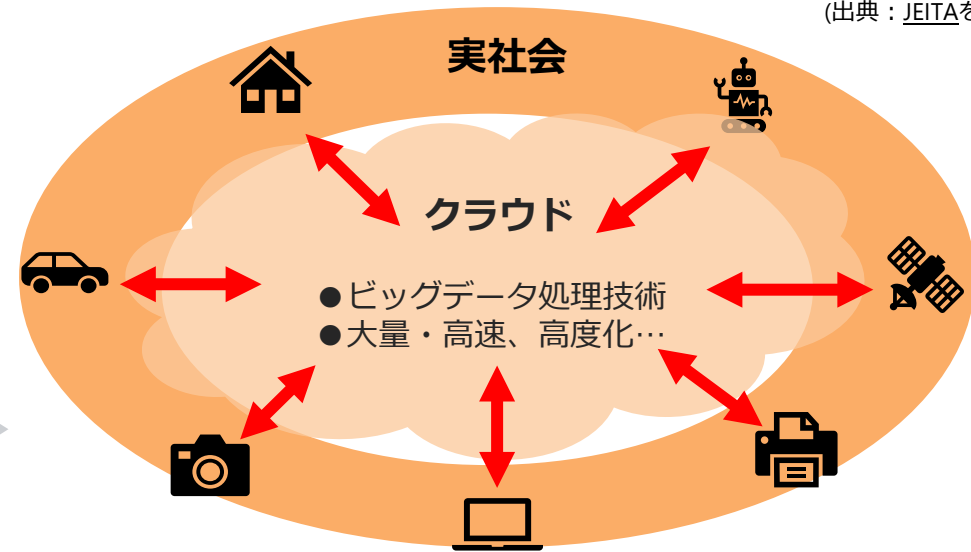
分野ごとのデータを「収集」「蓄積」「解析」「融合」して進化させる社会



未来 目指す姿

(新たな価値の創造)

(出典: JEITAをもとに当社作成)



クラウドと双方向の世界に、クラウドが情報処理した後に、実社会にフィードバックがかかっていく世界に

クラウドがストレージ、データ処理などにのみで活用される時代から、クラウドが実社会での機械制御にフィードバックをかける役割を果たし、実社会がより安心・安全な場所に

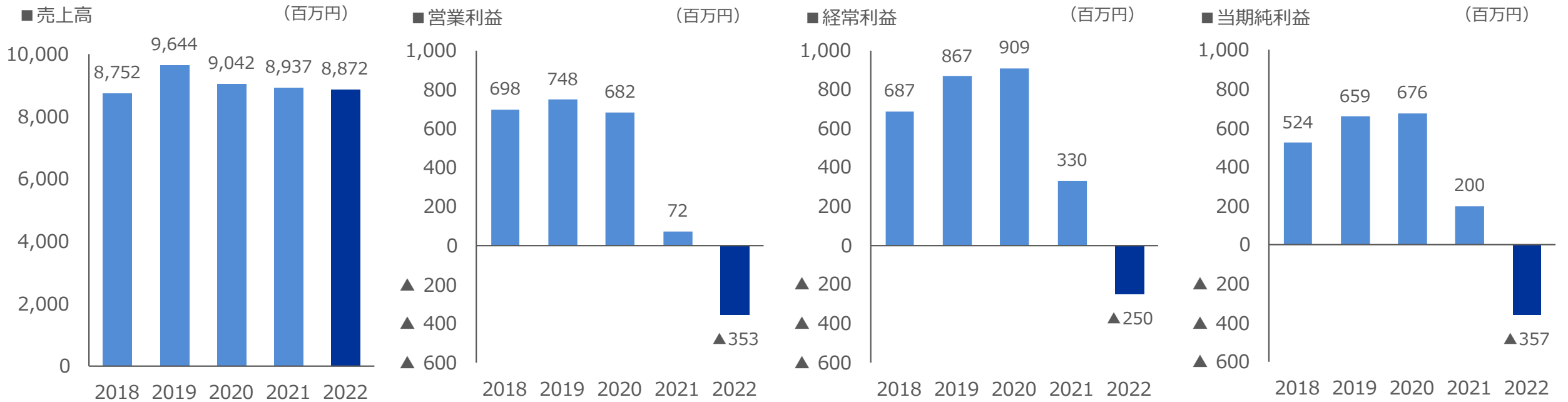
- クラウドでも適用できるプラットフォームの実現
- イーソルは、組込みで培った技術をもとに、産業の活性化や社会問題の解決を図っていくOSをつくる

経営方針

- イーソルは取引先様、ビジネスパートナーの皆様、株主の皆様と共に歩み、応援していただける企業を目指します。
- 組み込みソフトウェアの分野で、独自のソフトウェア製品の開発と多様なニーズに対応するエンジニアリングサービスまでをワンストップで提供できる世界的にも希少な企業として、今後も事業を拡大してまいります。
- 上場企業として、事業を通して、取引先、従業員、株主、全てのステークホルダーの価値向上を目指します。
- 株主の皆様には、1株あたりの利益の最大化を図り、企業価値向上を目指します。

ご参考資料

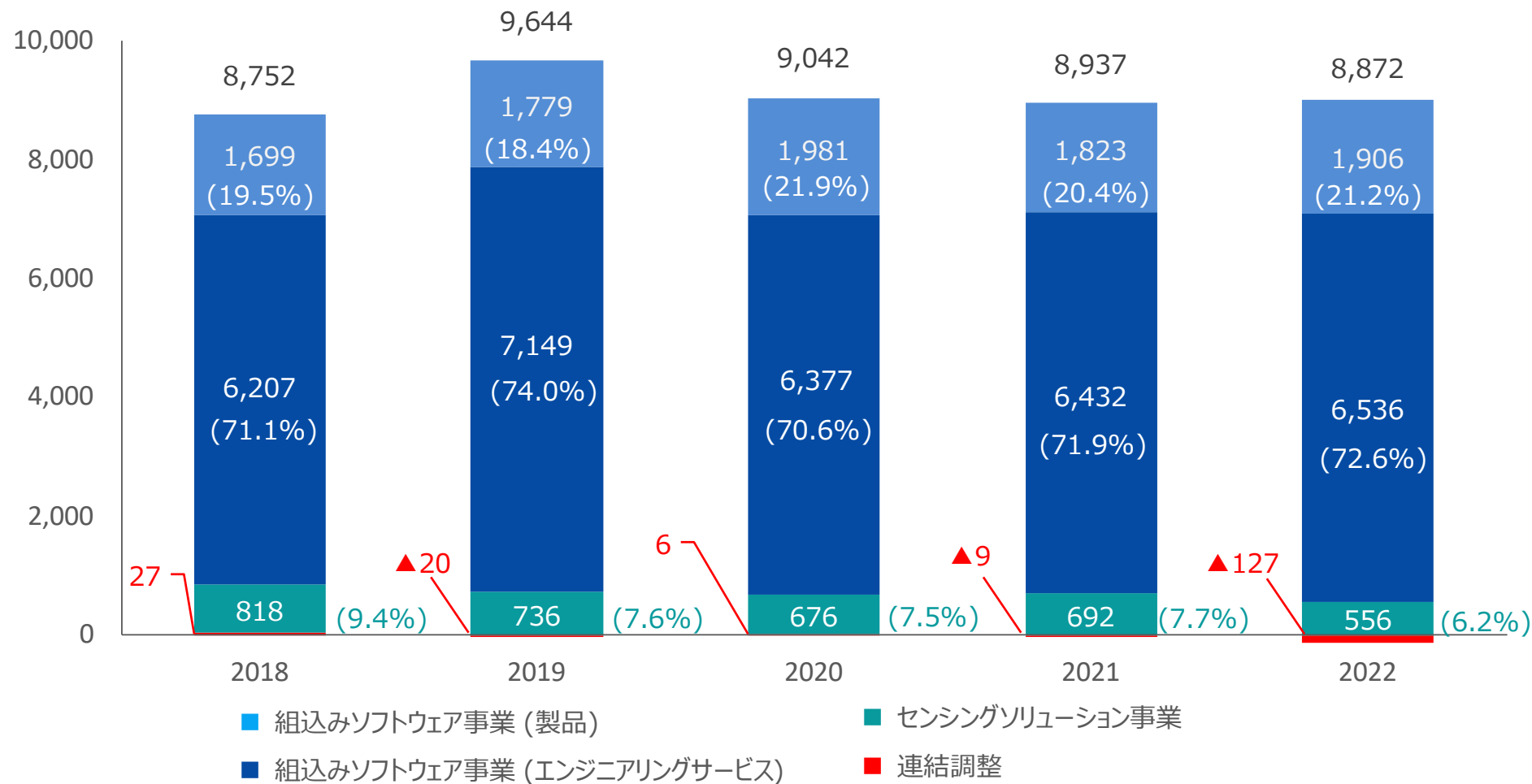
過去 5 年間同期比較



過去5年間同期比較 (セグメント別の売上高)

(百万円)

各割合は、連結調整前の組込みソフトウェア事業とセンシングソリューション事業の合計に占める割合



過去5年間の開発投資

	(百万円)				
	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
研究開発費	383	551	860	1,125	1,255
リビジョンアップ	398	364	328	704	555
開発投資合計	781	916	1,188	1,829	1,810
	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
売上高	8,752	9,644	9,042	8,937	8,872
売上原価	6,148	6,649	5,845	6,142	5,939
リビジョンアップ	398	364	328	704	555
売上原価 (除くりビジョンアップ)	5,749	6,284	5,517	5,438	5,383
売上総利益	2,604	2,995	3,197	2,795	2,933
売上総利益率	29.8%	31.1%	35.4%	31.3%	33.1%
売上総利益 (除くりビジョンアップ)	3,002	3,360	3,525	3,499	3,488
売上総利益 (除くりビジョンアップ) 率	34.3%	34.8%	39.0%	39.2%	39.3%
販売費及び一般管理費	1,905	2,246	2,514	2,722	3,286
研究開発費	383	551	860	1,125	1,255
販売費及び一般管理費 (除く研究開発費)	1,522	1,694	1,654	1,597	2,031
営業利益	698	748	682	72	▲353
営業利益率	8.0%	7.8%	7.5%	0.8%	-
営業利益 (除く開発投資)	1,480	1,665	1,871	1,902	1,456
営業利益 (除く開発投資) 率	16.9%	17.3%	20.7%	21.3%	16.4%
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ)	1,081	1,300	1,543	1,198	901
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ) 率	12.4%	13.5%	17.1%	13.4%	10.2%

本資料の取扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性などを含むため、将来の経営成績などの結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社グループの関連する業界動向などの要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生などがあつた場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂などを行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報などから引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適切性などを保証するものではありません。

お問い合わせ先

イーソル株式会社
社長室 IR担当

e-mail : esol-ir@esol.co.jp

当社WEB : <https://www.esol.co.jp/>